



平成30・31年度（2018・2019年度）
熊本県教育委員会指定
公益財団法人熊本県学校保健会委嘱
一般財団法人熊本県PTA教育振興財団委嘱
「健康教育研究推進校」



学校教育目標

本校の研究の概要

徳・知・体の調和のとれた児童の育成

研究主題

笑顔キラリ！ 夢チャレンジ！
心豊かにたくましく生きる豊川っ子の育成
～「かかわること」「見つめること」を大切にした健康教育の推進を通して～

主題設定の理由

平成29年1月に出された「第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方」には、教育をめぐる現状と課題の中で、次の3点について更なる取組の必要性が述べられている。

○目標や自信を持ち、主体的に取り組むこと ○他者への理解を促進すること ○健康の確保や体力の向上
また、社会の現状や2030年以降の変化等を踏まえ、子供自身や家庭、学校など子供を取り巻く状況の変化に対し、教育が大きな役割を果たしていく必要があることも示されている。

これらの課題等に対応していくためには、夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力や、生涯学び活躍できる力を育成する必要がある。

本校では「豊かな人間性」「確かな学力」「健康と体力」を視点として学校教育目標の具現化を図っている。すべての教育活動が円滑に遂行され、効果的に作用するためには、その土台として心身の健康づくりは不可欠である。

平成29年度は、生活科、総合的な学習の時間を中心に「かかわること」「見つめること」を視点とした研究に取り組んだ。その結果、子供たちには、コミュニケーション能力や自己肯定感に関して向上的が見られた。しかしながら、主体性や相手意識を持つこと等についての課題も明らかになった。

そこで、平成30・31年度は、「かかわること」「見つめること」を健康教育というフィルターにとおし、「心身の健康に関する知識・技能」「自ら意思決定・行動選択する力」「他者とかわる力」といった能力と「自己有用感・自己肯定感」という資質を相互に高めていく研究実践に取り組むことにした。

研究の仮説

(1) 「かかわること」「見つめること」を大切にした教育活動を重ねていけば、子供は本校で育てたい資質・能力及び、生涯にわたって健康な生活を送ろうとする意欲や態度を獲得・育成することができるであろう。

(2) 健康の保持・増進に関する日常指導と、家庭・地域及び幼・保・小・中の連携を計画的・組織的に行えば、子供に健康への関心の高まりと、健康に関する基本的な生活習慣の定着が見られるだろう。

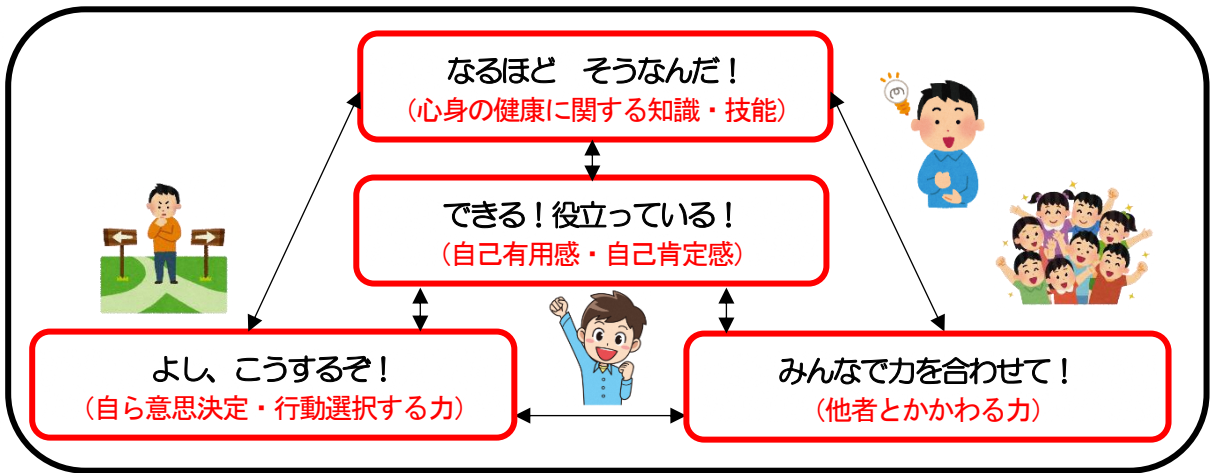
研究の実際

- 1 目指す資質・能力と子供の姿
- 2 「かかわること」「見つめること」を大切にした各教科・領域での授業実践
- 3 健康の保持増進に関する日常指導
- 4 望ましい生活習慣の定着に向けた、家庭、地域及び幼・保・小・中連携
- 5 「笑顔キラリ！夢チャレンジ！プラン」の活用

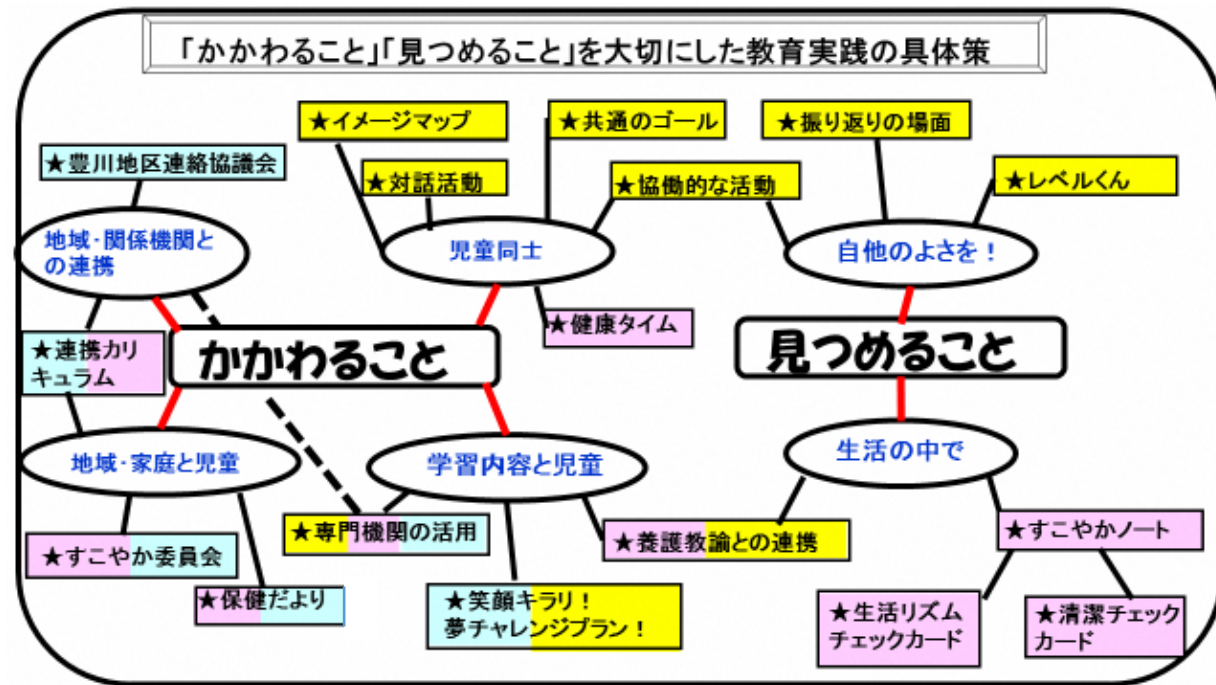
目指す子供

笑顔キラリ！夢チャレンジ！する子供

こんな力を



こうやって!

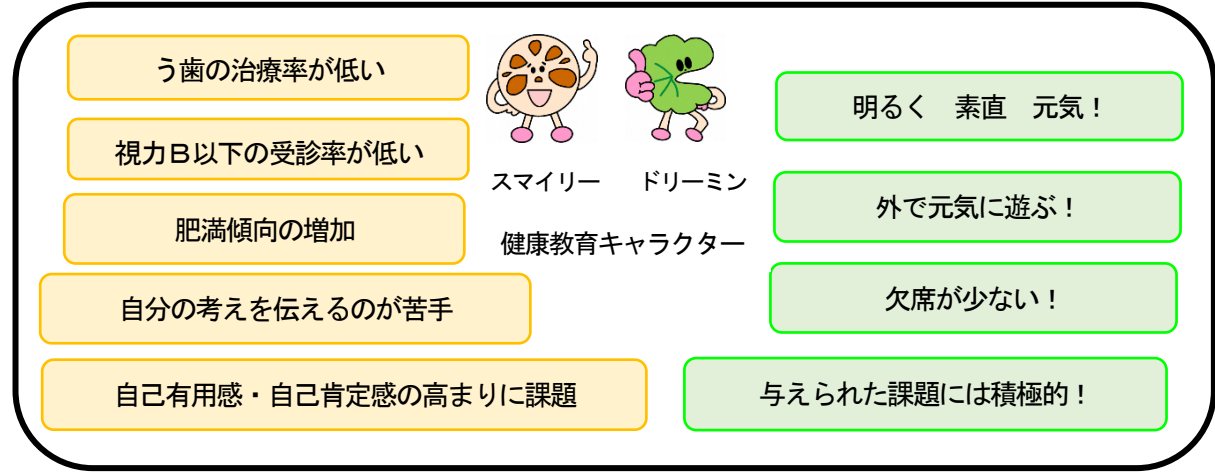


日々の授業

日常指導

地域との連携

この子供に



日々の授業で

○お互いを尊重しながら話し合い！

○目的、ゴールを分かって活動！

○どんどん考えや思いを出か！

実践

意思決定・行動選択

課題解決のための思考

心身の健康に関する知識・技能

課題


自分のこととしてとらえる

資料、出会い、経験、共同体験

自己有用感・自己肯定感

単元、授業の基本構造

出力・整理：思考ツールの活用



↑ イメージマップ：全学年での取組

共通実践のキーワード

出力 整理

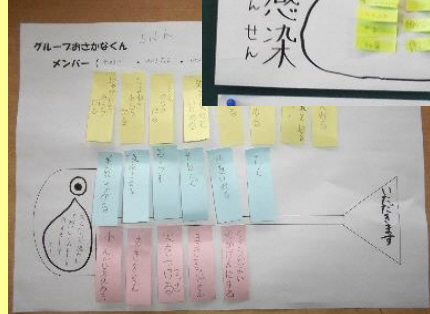
目的 ゴール

分かち合い (相手意識)


共通実践事項

- マッピング
- 思考ツールの活用
- ふりかえりの時間の確保
- 評価方法の工夫
- 対話活動等の協働的な場面の設定
- リアクションの重視
- 相手を尊重する態度の重視

↓フィッシュボーンのアレンジ



授業づくりのキーワード



日常指導で

○早寝 早起き 朝ごはん！

○自分の心と体を見つめ直す！

日常の活動(委員会)をすこやか集会に生かす




健康チェックボード



毎朝、体調をチェック！
互いの情報をシェア！

友だちも先生も！

養護教諭の多様なかわり



授業支援
体重測定時講話
すこやかノートチェック
校内外委員会
ブラッシング指導 などなど

はみがきの習慣化



歯ブラシコップ
忘れない！

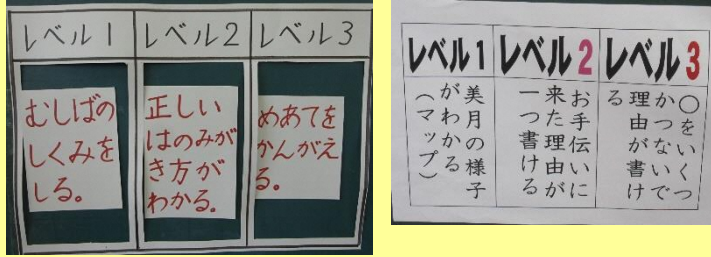
健康タイム



縦割り班で体力アップ



目的・ゴール：レベルくんの活用



↑「見つめ直し」の ものさし ↑ 国語科でも活用

分かち合い：多様な協働的場面



ST(スタンディングトーク)
対話活動や
討論 ↓

↑マッピングのシェア

4 望ましい生活習慣の定着に向けた、家庭、地域及び幼・保・小・中連携

地域との連携で



松橋町幼保・小・中連携カリキュラムを基に



半世紀にわたる豊川地区連絡協議会

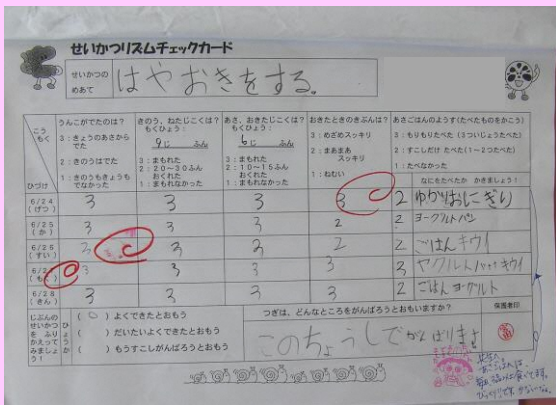
地域でも見直し

地域との連携

豊川小 幼保・小・中連携カリキュラム

学年・学年	3歳児 (年少)	4歳児 (年中)	5歳児 (小1)	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年
進級ステップ	進級前中間1	進級前中間2	進級前中間3	進級前中間4	進級前中間5	進級前中間6	進級前中間7	進級前中間8	進級前中間9	進級前中間10
学習	学習	学習	学習	学習	学習	学習	学習	学習	学習	学習
遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動	遊び・活動
豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心
豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心
豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心	豊かな心

すこやかノート (生活リズム・清潔チェック)



ぱくぱく広場・ほかほか通り



園と重点項目を協議



家庭・地域へ周知



9月から「話す・聞く」と「朝ごはん」に力を入れましょう!

学びをつなぐ

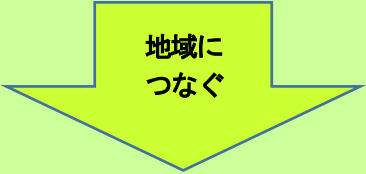
笑顔キラリ！夢チャレンジ！プラン

H31 第6学年 笑顔キラリ！夢チャレンジ！プラン									
健康の保持・増進のための知識、技能		意思決定、選択する力		他者とかがわる力					
4月		5月		6月		7月	8, 9月	10月	11月
学校行事	○入学式、結集式、歓迎遠足 ・保健調査・身体測定 ・視力、聴力検査・歯科検診	○運動会、スポーツフェス ・内科検診 ・心臓検診(1, 4年)	○集団宿泊教室 ・春の衛生月間「プール開き」 ・体重測定週間	○校内水泳大会 ○すこやか委員会(学校保健委員会)	○修学旅行 ・身体測定週間	○町内、宇根陸上記録会 ・招展検査 ・視力測定	○豊川まつり、就学時健康 ・体重測定週間		
		(国) イースター島にはなぜ森林がないのか	(国) 新聞の投書を読み比べよう	(国) 問題を解決するために話し合おう	(国) 資料を生かして呼びかけよう				
	(地) 縄文の村から古墳の国へ	(地) 天皇中心の国づくり	(地) 武士の世の中へ	(地) 角柱と円柱の体積	(地) 比の利用		(地) 生活につなげよう	(地) 世界に歩み出した日本	
	(算) 線対称・点対称	(算) 円の面積・分数のかけ算	(算) 分数のわり算	(算) 体のつくりとはたらき					(算) 循環コードから音楽をつ
									(算) 12年後の私
教科	(科) 私の仕事と生活時間	(科) 朝から健康な一日の生活	(科) 夏を涼しくさわやかに	(科) 夏を涼しくさわやかに	(科) 思いを形に倒立つ布製品				
家庭科									
体育			(科) 病気のおこり方						(科) がんについて知る
	ほんとうのことだけど	それじゃだめじゃん	心遣いと思いやり	かすみと携帯電話	自由行動		伊能忠敬		自分を守る力って

健康の保持・増進のための知識、技能

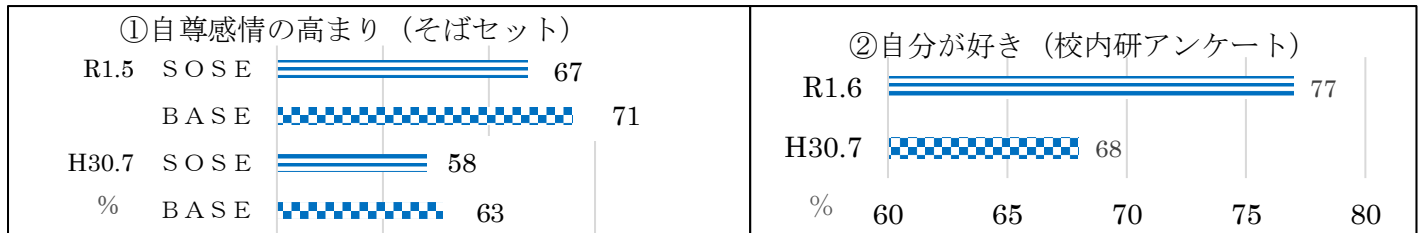
意思決定、選択する力

他者とかがわる力



取組の成果

1 自己有用感・自己肯定感【仮説（1）】



○そばセットについて（別紙資料）

社会的自尊感情（SOSE）と基本的自尊感情（BASE）を測定する尺度のことである。Social and Basic Self Esteem Test という英語表記の頭文字を並べて SOBA-SET といわれる。

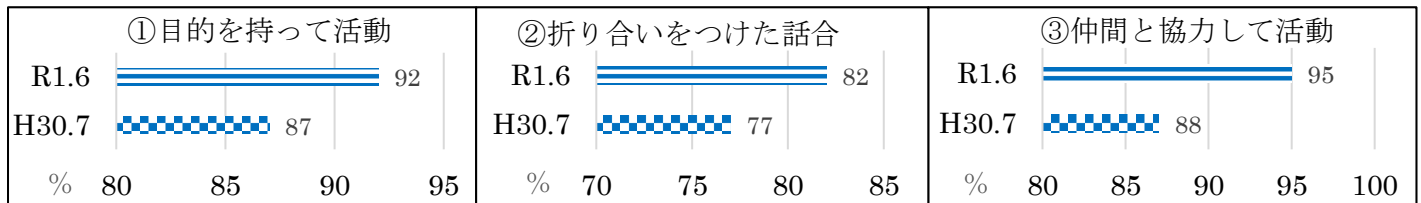
・社会的自尊感情（SOSE）：認められ、見つめられることによって膨らむ。他者との比較による相対的な優劣による感情で自己有用感を含む。

・基本的自尊感情（BASE）：体験と感情を共有することの繰り返して形成される。比較ではなくあるがままの自分を受け入れる感情で自己肯定感を含む。

【出典「子どもの自尊感情をどう育てるか」近藤 卓 ほんの森出版】

【成果】生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力の中核としてとらえている「自己有用感・自己肯定感」に関しては、明らかに向上しており、取組の成果が見られる。

2 意思決定・行動する力・他者とかかわる力（校内研アンケート）【仮説（1）】

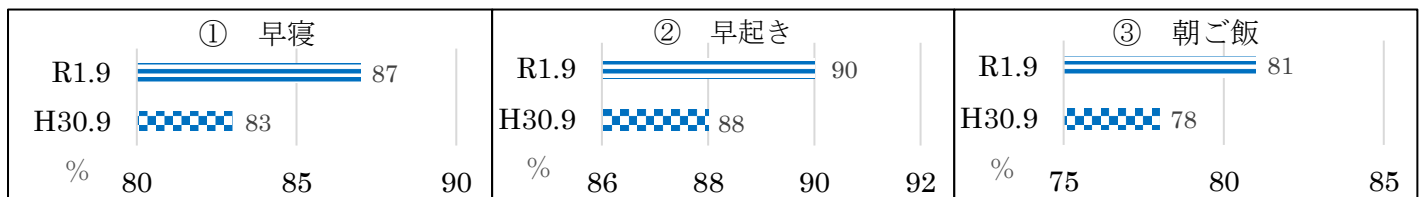


○校内研アンケートについて（別紙資料）

校内研アンケートは、本校調査・統計部が作成した本研究の検証のための調査である。自己肯定感、自己有用感、規範意識、目的意識、コミュニケーション、学習態度等に関する全32項目からなる。

【成果】意思決定・行動選択する力育成の基盤となる「目的意識」「ゴールの設定」や、他者とかかわる力育成に向けた「仲間と協力」「折り合いをつける」といった協働的な場面での意識の変容を見ると、それぞれ向上が見られる。本研究における各教科・領域、学校行事等、教育活動全体を通じた総合的な取組の成果と考える。

3 心身の健康に関する知識・技能（すこやかノート）【仮説（2）】



○すこやかノートについて（別紙資料）

「生活リズムチェック」「清潔チェック」をまとめたファイルのことである。生活リズムチェックは毎月末の1週間、実施している。

【成果】「早寝・早起き・朝ご飯」といった基本的な生活習慣の定着が向上している。専門的な知識・技能を獲得させるために、地域人材や養護教諭・栄養教諭等と連携した授業を実施したことや、家庭・地域及び幼・保・小・中と連携して、獲得した知識を実践してきたことの成果であるとする。

まとめ

本研究では、学校教育目標の具現化を目指し、研究主題に沿った実践を行い、仮説の検証に取り組んできた。その結果、この力を育成する基盤である「自尊感情」の高まりをはじめとする資質・能力の育成について一定の成果が見られた。健康面の課題解決については、短期間では明確な変容が見えづらい状況がある。しかしながら、先に述べたような資質・能力が育成されつつあることから、今後、取組の焦点化を図り、家庭や地域との連携をさらに密にしながら、生涯にわたって健康な生活を送ることができる児童の育成に努めていく。今後も本研究成果を生かした教育活動を継続していきたいと考える。